梅雨の晴れ間　久し振りにスカッとした岩尾根歩き 山スタンプWalk
須磨アルプス 横尾山へ 野路菊の丘から直登ルートで登る　2023.7.11.



毎日我が家の正面東に眺める須磨アルプス　左から東山・馬の背・横尾山

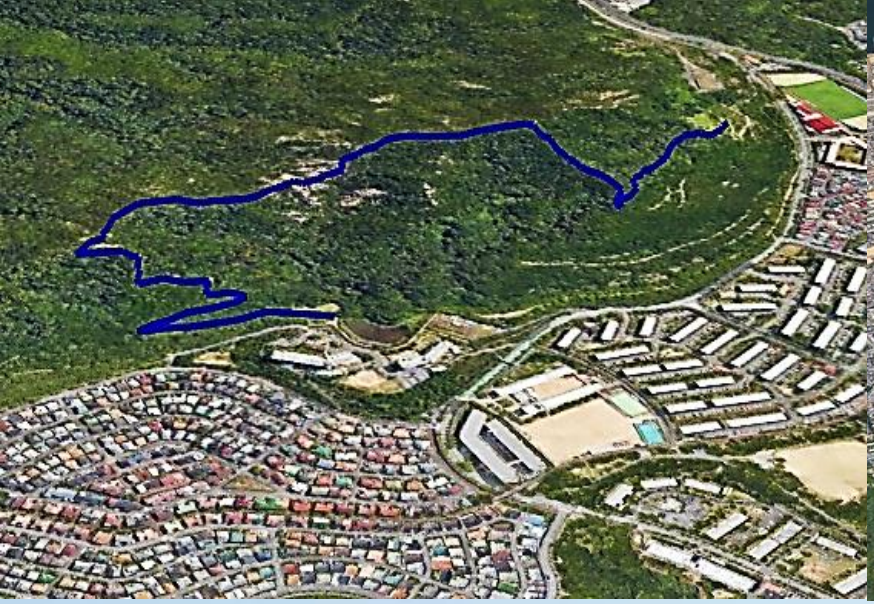


横尾山 2023.07.11



横尾山 2021.03.17

我が家の正面に見える須磨アルプス　東山－馬の背－横尾山　西六甲西端の縦走路
緑に包まれた東山と横尾山に挟まれ田中央に荒々しい剥き出しの岩稜の馬の背
低山ながらいつ見ても見飽きぬ美しい稜線
毎日walkの中で　よく歩く縦走路や山腹を巡る横尾道ですが、
右端に見える横尾山頂上への狭い岩尾根直登ルートをもう何年も登っていないことに気が付いた。
いつも登る山腹野路菊の丘の北端から樹林の中を狭い岩稜にロープが張られた直登コース。
ぼろぼろの岩肌で毎日散歩では敬遠していた登山道。
梅雨の晴れ間　快晴の午後　きっちり整備されていると聞いて久しぶりに直登。
誰にも出逢わぬ急登の道ですが、久しぶりに達成感。頂上で新しいヤマスタンプを取得して、
縦走路を東へ　馬の背から東山を経て妙法寺駅へ下りました。
夏の日差しの中　約２時間弱の山歩き　足も健在　爽快感一杯の久しぶりの山歩きになりました。
なお、野路菊の丘西端から横尾山の一つ南のこぶで縦走路に出る道もあるのですが、
いずれも視界の効かぬ樹林の中の狭い岩稜の急登の道です。

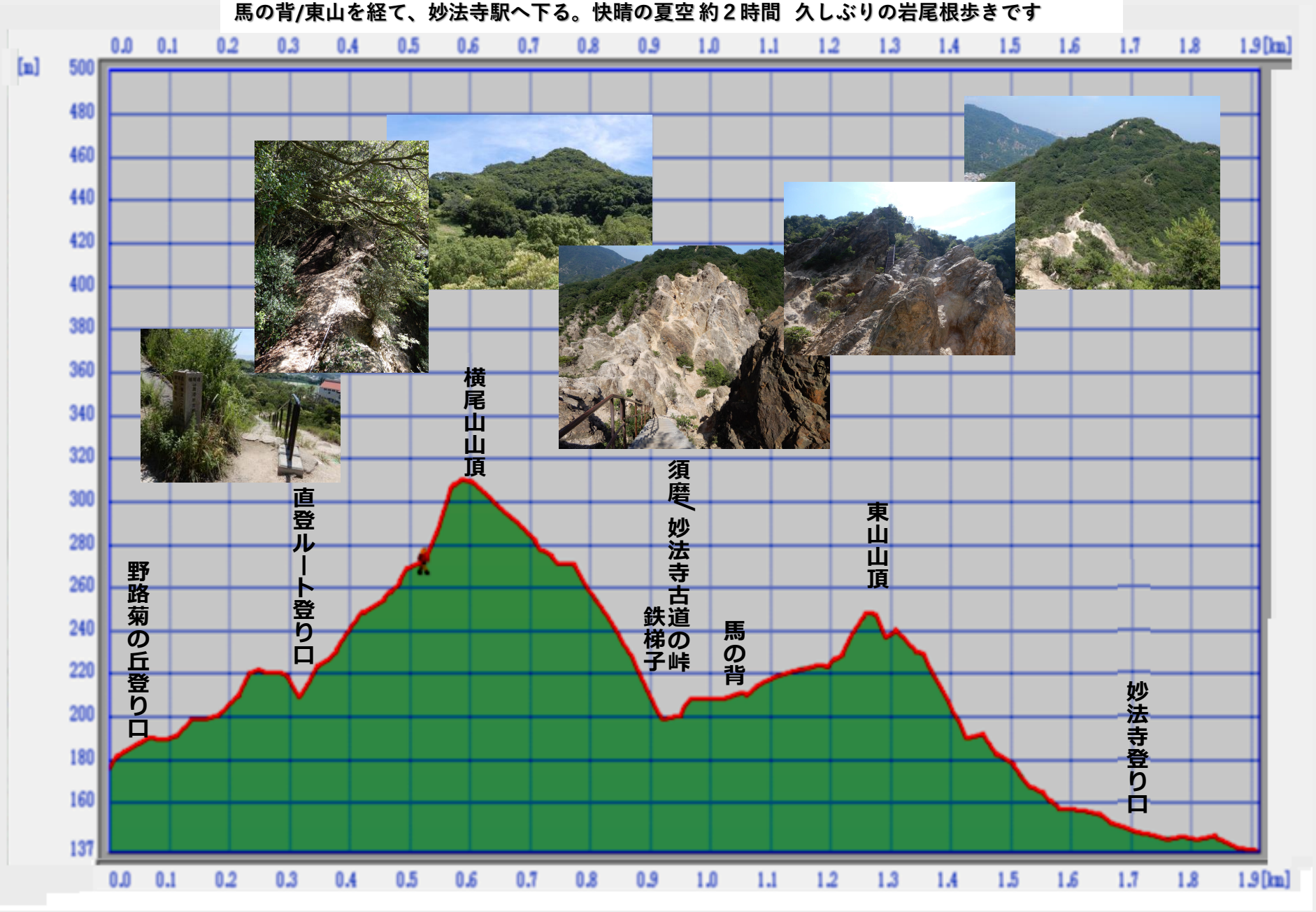




今回　横尾山へ西の野路菊の丘から直登ルートで頂上に登り、ヤマスタンプを取得して
馬の背/東山を経て、妙法寺駅へ下る。快晴の夏空 約２時間　久しぶりの岩尾根歩きです

毎日我が家の正面東に眺める須磨アルプス　左から東山・馬の背・横尾山

今回　横尾山へ西の野路菊の丘から直登ルートで頂上に登り、ヤマスタンプを取得して
馬の背/東山を経て、妙法寺駅へ下る。快晴の夏空 約２時間　久しぶりの岩尾根歩きです




野路菊の丘


登り口
横尾道から見上げる野路菊の丘と横尾山


横尾山
野路菊の丘
鉄梯子
馬の背
直登ルート
登り口
東山
横尾団地上
横尾道
須磨アルプス
妙法寺側
登り口



六甲縦走路の西端　須磨海岸に立ち並ぶ西六甲連山の山々　登り口が幾つもあり、毎日walkの市民の山
今回　横尾山へ西の野路菊の丘から直登ルートで頂上に登り、ヤマスタンプを取得して
馬の背/東山を経て、妙法寺駅へ下る。快晴の夏空 約２時間　久しぶりの岩尾根歩きです


横尾（七）
妙法寺
横尾団地
横尾（三）
横尾（四）
横尾団地上
横尾道
須磨アルプス
妙法寺側
登り口
直登ルート
登り口
野路菊の丘
横尾山
須磨～妙法寺古道クロス
横尾山・馬の背の鞍部
鉄梯子
馬の背
東山
栂尾山
地下鉄西神線



バス道路啓明学園前　登り口　横尾道から見上げる野路菊の丘と横尾山　2023.7.11.



横尾山の山腹　野路菊の丘　　2023.7.11.

11月丘の斜面を真っ白にして野路菊が咲く野路菊保護栽培地　野路菊の丘　2023.7.11.　13:45
啓明学園の上の横尾山山腹　ボランティアの人たちが野路菊の手入れに忙しい
この左端から樹林の中へ入って、横尾山山頂への直登ルートへ
何度も抜けたことのある道ですが、ヤブツバキ林道というらしい



横尾山山頂への直登ルートへ
樹林の中へ





下のバス道から野路菊の丘への登り道
丘の下を上の横尾道が山腹を巡っています









樹林の中に入ってすぐに炭窯跡にある小さな谷筋に　2023.7.11.
山腹の上方への踏み跡が数本あり、丘でしっかりした道があると聞いたので、
直登ルートへ続く道かと思いましたが、結局この谷を渡って、
山腹の巻き道を北へ進んで、直登ルートの取付きへ



樹林の中に入ってすぐに炭窯跡にある小さな谷筋に　2023.7.11.
山腹の上方への踏み跡が数本あり、丘でしっかりした道があると聞いたので、
直登ルートへ続く道かと思いましたが、結局この谷を渡って、
山腹の巻き道を北へ進んで、直登ルートの取付きへ







横尾山山頂への狭い岩稜の直登尾根筋　直登ルートの登り口で　2023.7.11.　14:14
随所にロープが張られ、左側は切れ落ちて　深い谷に、その向こうに東山が見える。

崖の端に樹林の間から北東側の展望　　2023.7.11.　横尾山直登ルートより

眼下の深い馬の背の谷筋は樹木に隠れて見えないが、横尾の団地・住宅群の右に東山が見え、
そのうしろの高取山・妙法寺の谷筋の街並が続き、遠く六甲山へ続く西六甲の山並が立ち並ぶ
右端には　神戸の街と大阪湾も見えている





横尾山直登ルート　崖の端に樹林の間から北東側の展望【1】　　2023.7.11.
横尾山・高取山から六甲山へと続く西六甲の山並み



横尾山直登ルート　崖の端に樹林の間から北東側の展望【2】　2023.7.11.
横尾団地・妙法寺駅周辺からその奥に広がる妙法寺の街並



横尾山直登ルート　樹林の中なので、よく見えないが、
両側は切れ落ち、ロープが張られた狭い岩尾根が山頂へ



頂上への直登ルート
樹間から登り口　啓明学園の運動場が　すぐ下に見える　　2023.7.11.





横尾山山頂は見えないが、所々にロープが張られた横尾山直登ルート　2023.7.11.
きつい傾斜の狭い岩稜　日差しはきついが、樹海の中　心地よい　14:15



横尾山直登ルート
空があかるくなり、上方に空のトンネル　横尾山山頂だ　2023.7.11.









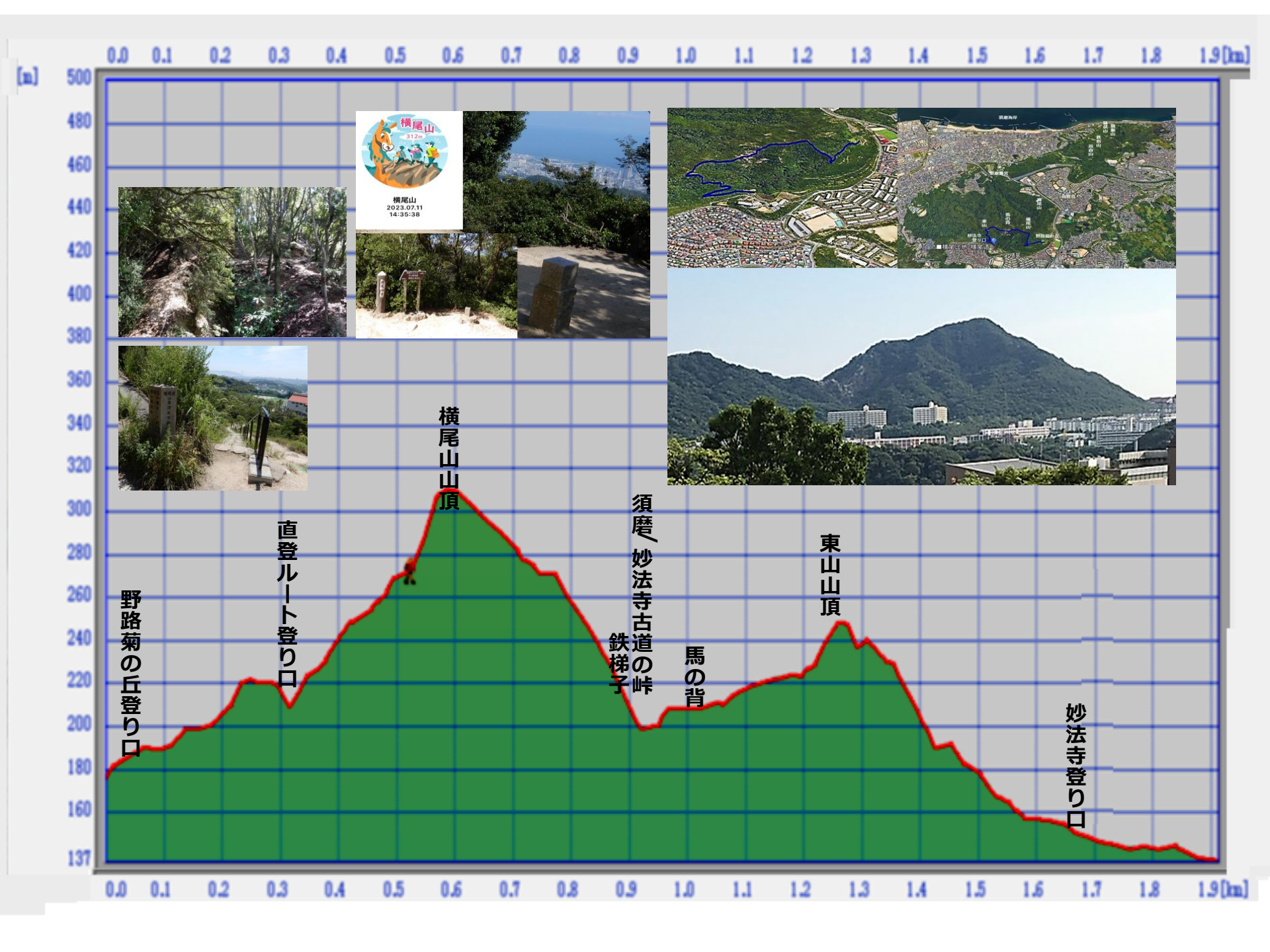
横尾山山頂　スマホを取り出し　ヤマスタンプアプリと交信
新しい馬のデザインの横尾山ヤマスタンプ取得　2023.7.11.14:35



横尾山
2023.07.11
14:35:38



横尾山山頂　　新しい馬のデザインの横尾山ヤマスタンプ取得　2023.7.11.14:35
南側樹間から　大阪湾と神戸の街が見えているが、周囲は樹木で囲まれ、視界なし


[m]
0.0 0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.0 1.1 1.2 1.3 1.4 1.5 1.6 1.7 1.8 1.9[km]
500 480 460 440 420 400 380 360 340 320 300 280 260 240 220 200 180 160 137
横尾山
312m
横尾山
2023.07.11
14:35:38
野路菊の丘登り口
直登ルート登り口
横尾山山頂
須磨アルプス
妙法寺古道の峠
鉄梯子
馬の背
東山山頂
妙法寺登り口



横尾山から馬の背へ　樹林の中　ごつごつした岩尾根の厳しい縦走路
横尾山から馬の背の鞍部まで約100mを一機に下る



横尾山から馬の背へ　樹林の中をごつごつした岩尾根の厳しい縦走路



横尾山から馬の背へ　樹林の間から北の妙法寺駅周辺が見える。
緑ヶ丘の住宅地が広がる背に風早から鵯越へ続く枝尾根もくっきりと



眼を凝らすと中央　緑の帯 緑ヶ丘の後ろに自宅のある若草の丘　さらにその後ろの高台に　しあわせの村の建物が立ち並び、右手に鴨越　ひよどり台の住宅地が見える。
いつも我が家から眺める反対側の横尾山が眺める景色
こんな風に見えるのだと。　うれしいPhotoが撮れました　2023.7.21.



横尾山から馬の背へ　ロープが張られた岩尾根の厳しい下りに







横尾山から馬の背へ　ロープが張られた岩尾根の厳しい下りに



横尾山から馬の背へ　ロープが張られた岩尾根の厳しい下りに
ここを下れば、鉄梯子　横尾山/馬の背の鞍部
妙法寺/須磨の古道のクロスへ(1)



横尾山から馬の背へ　ロープが張られた岩尾根の厳しい下りに
ここを下れば、鉄梯子　横尾山/馬の背の鞍部
妙法寺/須磨の古道のクロスへ(2)



樹海を抜けると一機に視界が開け、正面に馬の背から東山の縦走路が見える崖の上。ここから鉄梯子で横尾山/馬の背の鞍部へ下る



樹海を抜け、一機に視界が開け、正面に馬の背から東山の縦走路が見える崖の上
鉄梯子の入口だ。ほっと一服　眼前にはこれから通過する馬の背の縦走路
ここから鉄梯子で横尾山/馬の背の鞍部へ下る



岩尾根の厳しい下りの向こう　幅の狭い岩尾根馬の背の縦走路　2023.7.11.
馬の背の縦走路にいる人がくっきりと見える(1)



馬の背の縦走路にいる人がくっきりと見える(2)

正面に両側が切れ落ちた馬の背の稜線かせ東山へ　須磨アルプスの縦走路が眼前に 2023.7.11.





鉄梯子で横尾山/馬の背の鞍部へ下る 2023.7.11.



鉄梯子で横尾山/馬の背の鞍部へ下る 2023.7.11.
鞍部にある古道 妙法寺/須磨水野町乗越標識が見える







鉄梯子で横尾山/馬の背の鞍部へ下る 2023.7.11.



鉄梯子で横尾山/馬の背の鞍部へ　鉄梯子を振り返る 2023.7.11.



鉄梯子で横尾山/馬の背の鞍部へ下る 2023.7.11. 14:58
鞍部にある古道 妙法寺/須磨水野町乗越標識と縦走路のクロス







須磨アルプス　横尾山と馬の背の鞍部から馬の背へ　岩稜を登り返す
2023.15.20.　14:58



須磨アルプス　馬の背　2023.7.11.　15.20.



須磨アルプス　馬の背に出て　横尾山側を振り返る　2023.7.11.　15.20.



両側が切れ落ちた岩尾根 馬の背から東山へ　2023.7.11.　15.20.



通過した両側が切れ落ちた岩尾根 馬の背を振り返り、東山へ　2023.7.11.　15.20.



両側が切れ落ちた馬の背の狭い岩尾根を通り抜け、縦走路を振り返る　2023.15.20.







両側が切れ落ちた馬の背の縦走路　2023.15.20.



馬の背の狭い岩稜を通り抜け東山へ　2023.15.20.　15:08



馬の背の狭い岩稜を通り抜け東山へ　2023.15.20.　15:10



東山山頂から眺める須磨アルプス　　横尾山の背後左に栂尾山
そしてちょっびり須磨海岸の鉢伏山・旗振り山が頭を覗かしている





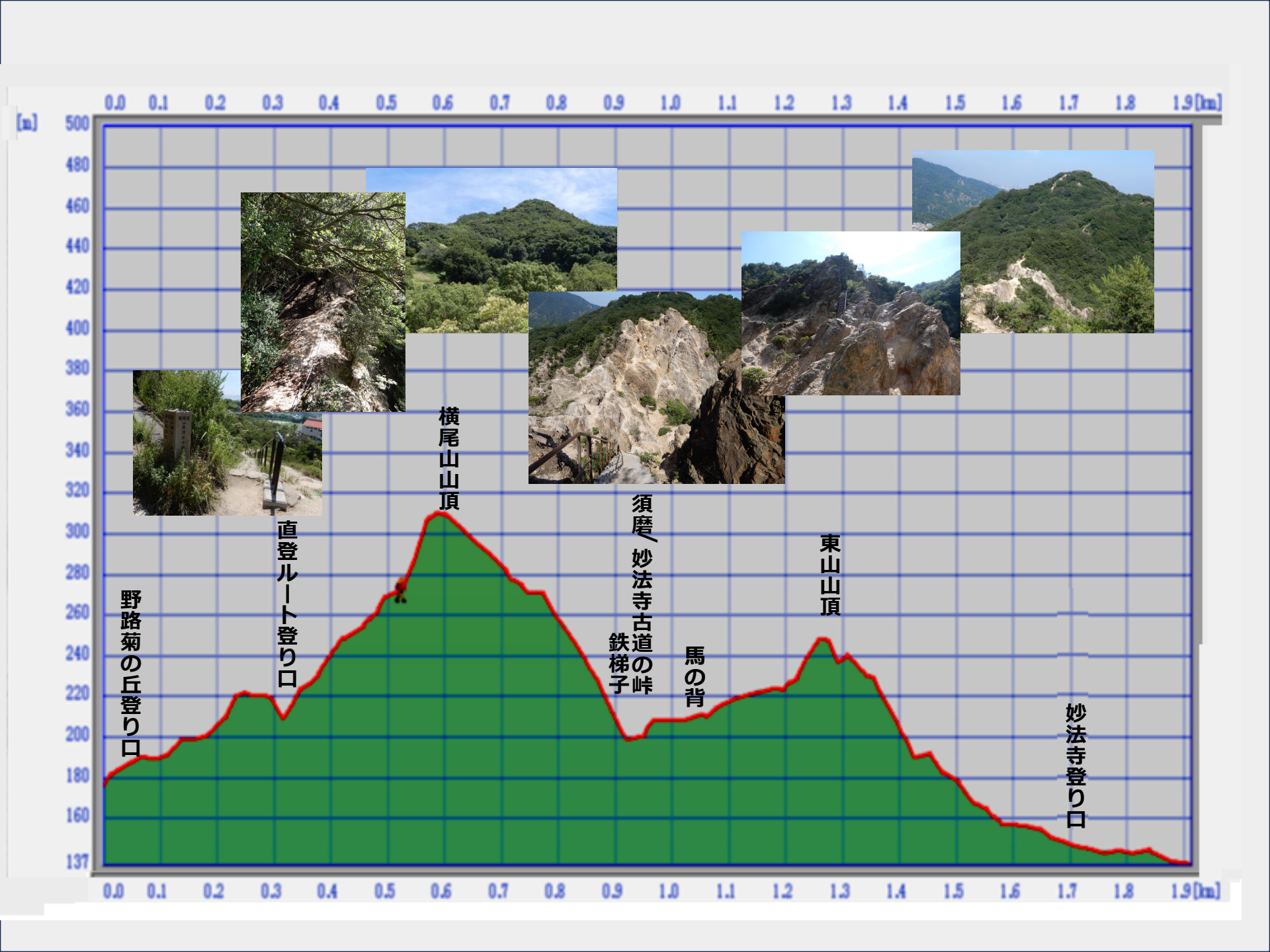
須磨アルプス 東山山頂　　2023.15.20.



東山から妙法寺への下り　横尾団地が広がる奥へ　白川街道沿いに広がる妙法寺の街並
背後の丘は山麓バイパス沿いを右端 鵯越へ　我が家から眺める反対の景色
快晴の夏空　久し振りの岩尾根歩きの爽快感を感じながら山を下る。



須磨アルプス　妙法寺側登り口　15:36


0.0 0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.0 1.1 1.2 1.3 1.4 1.5 1.6 1.7 1.8 1.9[km]
[m]
500
480
460
440
420
400
380
360
340
320
300
280
260
240
220
200
180
160
137
野路菊の丘登り口
直登ルート登り口
横尾山山頂
須磨ノ妙法寺古道の峠
鉄梯子
馬の背
東山山頂
妙法寺登り口

梅雨の晴れ間　久し振りにスカッとした岩尾根歩き 山スタンプWalk

須磨アルプス 横尾山へ 野路菊の丘から直登ルートで登る　2023.7.11.





横尾山 2023.07.11

いつも歩く山腹野路菊の丘の北端から樹林の中を狭い岩稜にロープが張られた直登コース。
花崗岩崩壊が続く西六甲　毎日散歩では敬遠していた登山道。
梅雨の晴れ間　快晴の午後　きっちり整備されていると聞いて久しぶりに直登ルートを横尾山山頂へ。
誰にも出逢わぬ急登の道ですが、久しぶりの達成感。
頂上で新しいヤマスタンプを取得して、縦走路を東へ　馬の背から東山を経て妙法寺駅へ下りました。

夏の日差しの中　約２時間弱の山歩き　足も健在
爽快感一杯の久しぶり　緊張した山歩きになり、
またいつもとは違ううれしい山歩きに。
横尾山の新スタンプも取れて家から眺める西六甲の
ヤマスタンプ4山すべて取得完了
毎日walkでの同じ場所が多いのですが、
ヤマスタンプ１００近く集まり、
この山スタンプ集めも楽し。知らなかったヤマスタンプの更新　手軽に山歩き　新しいスタンプの取得もまた楽しみに。



高取山（六甲）
2023.06.27
17:35:13



横尾山 2023.07.11



栂尾山
2023.07.03
16:21:45



旗振山
2023.06.23